

◇洗足池保育園の保護者の皆様へ

平成27年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である佛学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

小規模の家庭的な園で、子ども一人ひとりに目の行き届いた保育を提供し、保護者から満足度の高い評価を得ています

当園は、45人定員の小規模な保育園です。どの年齢のクラスも10人以下と少人数制で、子ども一人ひとりに職員が目が行き届いた保育に取り組んでいます。園行事も多く、年長児の2泊3日の林間保育や園独特のコーナー保育を取り入れ、変化に富んだ保育を提供しています。利用者調査では、保護者の保育園に対する総合的な評価は、大変満足、満足を合わせると100%と高い評価です。自由意見でも、「行事が多く、子どもたちが新しいことを経験できる」「とてもアットホームな保育園」など、感謝のことがたくさん寄せられています。

「おたより帳」は全園児の保護者に配付し、園と家庭との連絡に活用しています

園では家庭との連絡を大切に、1～5歳児まで全園児の保護者一人ひとりに「おたより帳」を配付しています。「おたより帳」には、連絡カードをとして、家庭と園での子どもの様子を伝え合っています。週案や園だより、クラスだより、行事のお知らせなど、保護者に連絡する必要があることは、「おたより帳」にとして伝達漏れがないようにしています。「おたより帳」の表紙は保護者が作っています。保護者の中には、この「おたより帳」を育児ノートに利用している方もいます。

地域の子育て家庭の親子が必要とするさまざまな支援活動を実施しています

在園児ばかりでなく、地域の子育て家庭の親子の保育支援も園の使命ととらえ、自主事業として取り組んでいます。こうした子育て支援活動に参加するためのパートナー保育登録者は、昨年度は45名を数えています。緊急一時保育、一時保育、体験保育、年末保育、子育て講座、子育て情報誌の発行、園の行事への参加など、地域の子育て家庭の親子が必要とするさまざまな支援活動を実施しています。

さらなる取り組みが期待される点

職員の業務について見直すことで、職員の業務負担軽減を図られてはいかがでしょうか

今回の第三者評価の職員自己評価によると、残業の削減や書類の簡素化などを求める声が多く出ていました。園の保育サービスは利用者の立場に立ったもので、保護者からの高い評価を得ています。その陰で園行事の開催にあたっては、職員は細部にわたっての細かい企画書の作成からはじまり、開催前までに何度もお知らせを作成しています。今後は、職員の個々の業務の必要性をよく吟味して職員の業務の負担軽減を図ってはいかがでしょうか。

保育課程に園の保育理念や方針についてのわかりやすい記載をされてはいかがでしょうか

園の保育理念や方針のもとに、園の保育目標を達成するための園の全体計画として、保育課程が作成され、指導計画はそれを実践するための具体的な活動案として作成されています。しかしながら保育課程には、保育理念、方針などの記載がありません。保育課程をもとに、そして子どもの発達過程に応じた養護と教育、園が立地する地域の特性から、さまざまな園の取り組みを示すことが求められます。そうした観点から保育課程の見直しをされてはいかがでしょうか。

マニュアルをさらに使用しやすいものに整備される取り組みに期待します

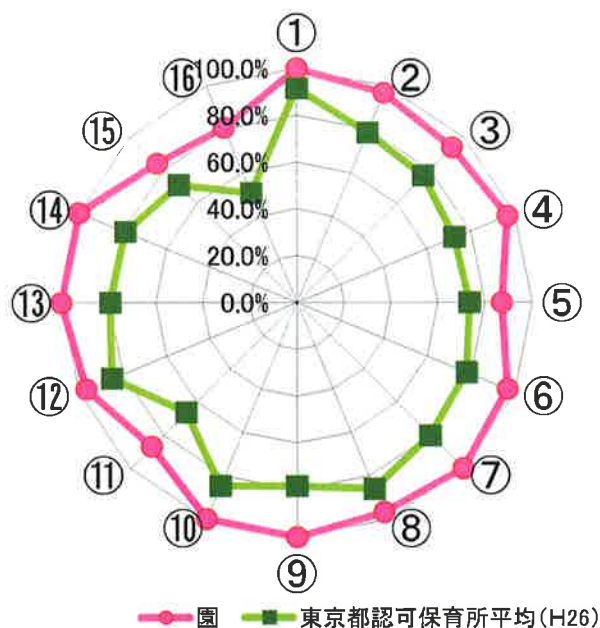
職員一人ひとりに配付している、「保育のてびき」及び「保育のしおり」に、早番、延長保育、土曜保育、清掃などの業務マニュアルや保育中の安全について記載したマニュアル、防災の手引きを掲載し、いつでも参照できるようにしています。また、虐待防止、不審者対応、実習生・ボランティア受け入れマニュアルも用意しています。今後は、そのマニュアルを職員全体で見直し、さらに使用しやすいものに整備されると良いでしょう。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2015年9月10日(木)～2015年9月24日(木)

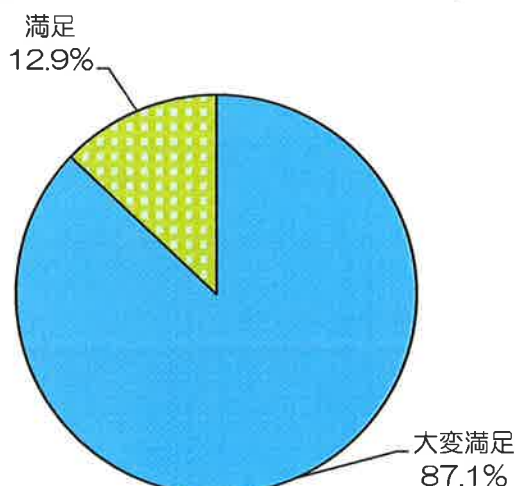
質問別「はい」の回答率

園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ② 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ③ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ④ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑤ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑥ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑦ 保護者の考えを聞く姿勢があるか
- ⑧ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑨ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑩ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑪ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑫ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑬ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑭ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑮ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑯ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳しい内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに、約一か月かかります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

この度は、お忙しい中、福祉サービス第三者評価利用者アンケートにご協力頂きまして誠にありがとうございました。頂いたご意見を参考に、ご家庭と連携し、これからも子ども達の健やかな成長を願い、より良い保育が行えますよう努めてまいりたいと思います。

保育課程につきましては、このたびの受審以前に、東京都福祉保健局指導監査部指導第二課保育施設検査係へ確認、相談しましたところ、現行のもので問題ないと確認しておりますが、別冊でお渡ししておりました概要を追記する等、よりわかりやすいものを作成したいと考えております。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模の家庭的な園で、子ども一人ひとりに目の行き届いた保育を提供し、保護者から満足度の高い評価を得ています
	内容	当園は、45人定員の小規模な保育園です。どの年齢のクラスも10人以下と少人数制で、子ども一人ひとりに職員の目が行き届いた保育に取り組んでいます。園行事も多く、年長児の2泊3日の林間保育や園独特のコーナー保育を取り入れ、変化に富んだ保育を提供しています。利用者調査では、保護者の保育園に対する総合的な評価は、大変満足、満足を含めると100%と高い評価です。自由意見でも、「行事が多く、子どもたちが新しいことを経験できる」「とてもアットホームな保育園」など、感謝のことばがたくさん寄せられています。
2	タイトル	「おたより帳」は全園児の保護者に配付し、園と家庭との連絡に活用しています
	内容	園では家庭との連絡を大切に、1～5歳児まで全園児の保護者一人ひとりに「おたより帳」を配付しています。「おたより帳」には、連絡カードをとして、家庭と園での子どもの様子を伝え合っています。週案や園だより、クラスだより、行事のお知らせなど、保護者に連絡する必要があることは、「おたより帳」にとして伝達漏れがないようにしています。「おたより帳」の表紙は保護者が作っています。保護者の中には、この「おたより帳」を育児ノートに利用している方もいます。
3	タイトル	地域の子育て家庭の親子が必要とするさまざまな支援活動を実施しています
	内容	在園児ばかりでなく、地域の子育て家庭の親子の保育支援も園の使命ととらえ、自主事業として取り組んでいます。こうした子育て支援活動に参加するためのパートナー保育登録者は、昨年度は45名を数えています。緊急一時保育、一時保育、体験保育、年末保育、子育て講座、子育て情報誌の発行、園の行事への参加など、地域の子育て家庭の親子が必要とするさまざまな支援活動を実施しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員の業務について見直すことで、職員の業務負担軽減を図られてはいかがでしょう
	内容	今回の第三者評価の職員自己評価によると、残業の削減や書類の簡素化などを求める声がいくつか出ていました。園の保育サービスは利用者の立場に立ったもので、保護者からの高い評価を得ています。その陰で園行事の開催にあたっては、職員は細部にわたっての細かい企画書の作成からはじまり、開催前までに何度もお知らせを作成しています。今後は、職員の個々の業務の必要性をよく吟味して職員の業務の負担軽減を図ってはいかがでしょうか。
2	タイトル	保育課程に園の保育理念や方針についてのわかりやすい記載をされてはいかがでしょう
	内容	園の保育理念や方針のもとに、園の保育目標を達成するための園の全体計画として、保育課程が作成され、指導計画はそれを実践するための具体的な活動案として作成されています。しかしながら保育課程には、保育理念、方針などの記載がありません。保育課程をもとに、そして子どもの発達過程に応じた養護と教育、園が立地する地域の特性から、さまざまな園の取り組みを示すことが求められます。そうした観点から保育課程の見直しをされてはいかがでしょう。
3	タイトル	マニュアルをさらに使用しやすいものに整備される取り組みに期待します
	内容	職員一人ひとりに配付している、「保育のてびき」及び「保育のしおり」に、早番、延長保育、土曜保育、清掃などの業務マニュアルや保育中の安全について記載したマニュアル、防災の手引きを掲載し、いつでも参照できるようにしています。また、虐待防止、不審者対応、実習生・ボランティア受け入れマニュアルも用意しています。今後は、そのマニュアルを職員全体で見直し、さらに使用しやすいものに整備されると良いでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもたちの意欲と自主性を育てるために「コーナー遊び」を取り入れています	
内容①	当園が力を入れて取り組んでいる保育に「コーナー遊び」があります。「社会」「体育」「モンテッソーリ」「造形」「英会話」「コンピューター」の6つのコーナーを設定して、2～5歳児が週2回のコーナー遊びをしています。コーナー遊びの時間には、子どもたちは自分の好きなコーナーを選んで遊びます。職員は、子どもたちが満足のいくまで遊びこめるよう支援しています。子どもたちは一日の中で複数のコーナーを回ったり、1つのコーナーでじっくり遊んだりときまぎまぎです。異年齢の子ども同士が触れ合う良い機会にもなっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者との信頼関係を深めるため、「保護者対応」をテーマに園内研修をしています	
内容②	園では、保護者とのかかわりを大切にしています。職員は、日々の朝夕の送迎時には、保護者と必ず口頭で会話をするようにしています。また、クラス懇談会でも保護者に対してしっかりした対応に努めるようにしています。保護者とのかかわりの中で、職員の対応や態度は保護者との信頼関係の構築に大きく影響します。園内研修では、「保護者対応」をテーマに毎月取り組み、さまざまな状況を想定してロールプレイングしています。職員はしっかりした保育観を持ち、保護者に対して失礼のない言葉づかいやふるまいを研修から身につけています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている
タイトル③	園行事のときは保護者にも参加してもらい、いっしょに楽しめるように工夫しています	
内容③	保護者参加の園行事は、保護者もいっしょに楽しめるように工夫しています。特に夕涼み会や運動会、もちつき大会では、保護者にも手伝ってもらう機会を設けています。夕涼み会では、保護者にも出店のお手伝いをしてもらったり、ビンゴ大会の景品を用意してもらうなどの協力を得ています。運動会では、保護者も仮装して職員といっしょに踊ったり、もちつき大会では、杵でおもちをつくなど、保護者も子どもたちや職員といっしょに楽しむ機会を作っています。園の行事は、保護者にも楽しく参加してもらえるよう工夫しています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ☐ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ☐ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ☐ 非該当

カテゴリー1の講評

保育の理念や保育の目標は職員にも保護者にも周知しています

園の保育の理念は児童福祉法や子ども・子育て支援法が基になっています。保育の理念や保育の目標は、事業計画や職員の業務用手引書「保育のしおり」に明示しています。また、「入園のしおり」や園のホームページには、保育の理念を運営の方針として、保育の目標もあわせて掲載しています。職員には、年度初めの職員会議で全員で読み合わせをしています。また、職員の更衣室にも文書掲示し、常に確認できるようにしています。保護者には、入園説明会やクラス懇談会で園長が説明しています。

園長は園内の全ての最終責任者として、園業務を統轄しています

園長をはじめとする職員全員の職務は、事業計画書に示されています。園の経営層は、園長と副園長、主任です。園長は園の最終責任者として、園業務の全てを統轄しています。副園長は園長の補佐をし、園長とともに園の経営管理をしています。主任は保育計画の立案・指導や現場職員の指導と監督をしています。対外的な会合には、主に園長が園を代表して出席し、区の私立保育園連合会の園長会や地区の保育施設交流会、要保護児童対策協議会に出席したり、区役所との連絡・交渉を行ったりしています。幼保小連絡会には主任が出席しています。

案件によって決定手順が違います

園の保育業務は、担当職員が企画書を提出して職員会議で検討し園長の承認をもって決定します。企画によっては、系列園との合同会議でも検討しています。法人全体にかかわる案件は、法人の理事会で決定します。また、10万円以上の物品の購入は園長が稟議書を法人に提出し、法人で審議して決定します。この手順でパソコンやビニールプールを購入しました。園で決定したことは、保護者には園だよりや文書掲示、おたより帳にお知らせ文書を入れて周知しています。子ども・子育て支援新制度の保護者への説明は、昨年度末のクラス懇談会で行いました。

2 経営における社会的責任			カテゴリー2
サブカテゴリー1(2-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○ 非該当	
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○ 非該当	
サブカテゴリー2(2-2)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○ 非該当	
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○ 非該当	
● あり ○ なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○ 非該当	
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○ 非該当	

カテゴリー2の講評

保育にかかわる者としての心得は、職員の業務用手引書「保育のしおり」に載せています

保育にかかわる者としての心得は、職員の業務用手引書「保育のしおり」に明記しています。「保育のしおり」には児童憲章や児童福祉法をとじ込み、常に職員が確認できるようにしています。こうした基本精神は、職員の入職時の説明会で園長から説明しています。虐待やいじめなどの報道があったときは、新聞記事をコピーして、職員に回覧し適切な対応について話しています。また、園の透明性を図るための取り組みとしては、第三者評価を受審したときには、結果報告書を各クラスに置いたり、園のホームページで概略を公表したりしています。

子育て支援事業に取り組み、在宅で子育てをしている親子の支援も行っています

在宅で子育てをしている親子の支援も園の使命と考え、子育て支援事業に取り組んでいます。子育て支援事業には、体験保育や育児相談、出産を控えた親の体験学習、子育てサークル支援、子育て情報紙の発行などを行っています。また、運動会や夕涼み会などの園行事にも、在園児と交流できる機会を設けています。あらかじめパートナー保育登録をした保護者には定期的にお知らせを送って参加を募っています。また、中学生を職場体験として受け入れ、保育園の社会的役割や保育士の仕事を伝えています。

地域のさまざまな団体とネットワークを組んで、保育園が抱える課題を解決しています

地域の保育園が共通して抱える課題を解決するため、園長は区の私立保育園連合会に毎月出席して区から情報提供を受けたり、他園と情報交換しています。また、地域保育施設交流会では子育て活動全般について、要保護児童対策協議会では虐待や育児困難家庭について、幼保小連絡会議では小学校就学に向けて情報交換しています。近隣の小学校とは年長児の小学校見学や小学生との交流をするなど就学への準備をしています。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○ 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○ 非該当
カテゴリ3の講評		
ご意見箱やホームページなどで、保護者が意見や要望を表明できる場を設けています 園の苦情解決制度については、「入園のしおり」に明示し、入園説明会のときに保護者に説明しています。玄関にはご意見箱「みんなの声」を設置し、保護者が苦情や要望を投函できるようにしています。園のホームページにも「みんなの広場」を開設し、保護者からの苦情やご意見、そして子育て相談などで、園と保護者が意見交換できる場を用意しています。ご意見箱を通して保護者からの苦情や要望は特に出ていません。以前には運動会で仮装して職員と踊る踊りについては事前に練習をしたいという要望があり、事前練習を取り入れることになりました。 保護者参加の園行事には、保護者アンケートを行い保護者の意見を聞いています 入園式や運動会、遠足など保護者参加の行事のときや、保育参観の後の給食試食会、育児強化月間には、保護者にアンケートをお願いしています。アンケートは集計し、職員会議で報告したり、回覧したりして職員全員が集計結果を確認しています。また、保護者から寄せられた意見や要望には返事を園内に掲示するとともに、アンケートの集計結果を保護者に報告しています。昨年の夕涼み会の盆踊りでは、乳児もみんなといっしょに踊らせたいという保護者からの要望があり、今年度は幼児クラスといっしょに踊りました。 さまざまな会合に出席して地域の保育ニーズの情報収集をしています 地域の保育ニーズは、園長が区の私立保育園連合会や地域保育施設会議などの会合に出席して情報を収集しています。私立保育園連合会の会合には区役所の職員も出席し、区の待機児数の推移や新規開設園の情報を得ています。園の育児講座に参加される地域の方にはアンケート「ひとことカード」を配付し、当園に望むことを聞いています。また、区の園長会で、保育園の職員の処遇改善策として借り上げ住宅の家賃補助を開始するという情報を得て、園ではこれらの制度を利用しています。		

カテゴリー4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリー1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 年度単位の計画を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○ 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ4の講評

計画は取り組む期間に応じて、中長期計画、年間事業計画を立てています

中長期計画については、施設・設備の整備や利用者サービス、災害対策、人材育成などの項目を立てて、今年度から平成29年までの中期計画と、平成32年までの長期計画を策定しています。年度単位の計画は、年間事業計画で策定しています。事業計画はこの1年間の事業について、どのような体制でどのように取り組むのか項目を立てて策定しています。短期の活動についても、担当者とスケジュールを決めて計画しています。

計画は保護者アンケートなどで把握した反省材料から改善しています

事業計画は3月の法人への提出に向けて1月から策定に入ります。策定にあたっては、1年間を振り返って反省材料や新規に取り組む事業を盛り込みます。園行事や子育て支援などの一つひとつの計画には、保護者アンケートなどで把握した反省点や他園の公開保育などで得た先進事例を取り入れています。計画の推進にあたっては予算内で行うように、また一人の職員に負担がかかりすぎないようにしています。計画の作成についてスケジュール通り進んでいるか会議の場でチェックしています。

子どもの安全確保を図るため園内体制を固め、外部の関係機関の協力を仰いでいます

園では子どもの安全確保が最優先課題と捉え、災害に対応するため「自衛消防隊の組織表」で通報係や誘導係など職員の役割分担を決めています。消防署や警察署、医療機関の連絡先を事務所に掲示しています。職員は消防署には初期消火や通報訓練等、警察署には交通安全の実施指導を受けています。子どもが事故やけがをしないようにヒヤリハット表で危険箇所のチェックをしています。園内で感染症が発生したときは、文書掲示で保護者に予防対策を含め発生状況を伝えています。

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○ 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ5の講評

職員の採用は系列園と合同で行い、採用試験は書類選考と面接で行っています

職員の業務用手引書「保育のしおり」には、当園で求める職員像が明記されています。「保育のてびき」が保育にかかわるときの心得を示した業務用手引書であるのに対し、「保育のしおり」は主に保育技術の確認用手引書です。職員の育成と評価の考え方は、業績評価制度で示されています。職員の採用は系列園と合同で行っています。求人票は保育士の養成学校や大学、ハローワークに出しています。採用試験は書類選考と面接で行います。職員の配置は、ベテラン職員と新人職員を組み合わせ、OJT(職場内教育)ができるようしています。

業務目標・成果シートは職員の研修計画の基礎資料として活用しています

職員は、年度初めに年間の成長目標を「業務目標・成果シート」で設定し園長に提出します。そして年度の間で園長と面談し進捗状況を確認し、年度末の園長との面談で年間の成果を確認しています。この「業務目標・成果シート」は職員の個別育成シートとして使用し、研修を計画する際の基礎資料にしています。研修の受講にあたっては、勤務シフトを調整し全員が受講できるようにしています。外部の有料の研修については、受講料と交通費は園で負担しています。研修受講後は報告書を提出し内容を発表することで園全体で情報を共有しています。

人事考課は業績評価シートで行い、結果は報酬に反映させています

人事考課は業績評価シートで行っています。業績を数値化し昇給や賞与に反映させています。成果を出した職員には、ねぎらいの言葉をかけてやる気と働きがいの向上を図っています。なお、当園は利用者サイドに立った保育に心がけ、そのために周到な準備と、その後の記録もていねいに残しています。そのことが職員の負担になっているようです。今後、必要以上の業務を省くことで職員の負担軽減を図ることを望みます。福利厚生制度については、民間の福利厚生法人の会員になっていますので、いくつかの特典が受けられます。

カテゴリー7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリー1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	☐ 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	☐ 非該当
カテゴリー7の講評		
個人情報の入った子どもの児童票などは、事務所の鍵のかかる書庫で保管しています 個人情報の入った児童票や職員の住所、履歴書は事務所の鍵のかかる書庫で保管しています。園のパソコンには、1台ごとにパスワードを設定して、アクセス制限をしています。パソコンで作成した指導計画や報告書、おたより類、献立表などのデータは、記憶媒体に保存しています。園にはこれらの情報が蓄積されていますが、記憶媒体は園内だけでの使用とし、園外への持ち出しは禁止しています。データはファイルに分けて必要な職員が必要なことに活用できるようにしています。 子どもの個人情報の取り扱いについては入園時に保護者から同意書を得ています 園では、法人が定めた「個人情報保護規程」にしたがい、個人情報の取り扱いについて適正に行っています。園では、子どもの名前や写真を園内掲示や園だより、園のホームページで利用しています。利用にあたっては、入園時に保護者に説明し利用することへの同意書を得ています。守秘義務については、園で知り得た情報は決して園外では漏らしてはいけないことを職員はもちろんのこと、実習生やボランティアにも説明し誓約書を提出してもらっています。		

8		カテゴリー8	
カテゴリー1～7に関する活動成果			
サブカテゴリー1(8-1)			
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している			
評価項目1			
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」		☒ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果			
近隣の保育園4園と交流し、子どもたちの社会性を育てています 地域の保育施設園交流会として地域の13園と交流会を行っています。今年度はそれに加えて、近隣の保育園4園と交流会を行うようにしました。5歳児が中心ですが、地域のグラウンドを借りて体操をしたり、ゲームをしたり、参加園の園庭でドッジボールをするなど、子どもたちが地域の子どもたちと広く交流できる機会を作りました。小学校に入学した後も初めて出会う子どもたちと友だちになれるよう社会性を育てています。 地域の未就園児を対象に子育て支援活動を行っており、今年度は園行事の七夕祭りにも未就園児を招待しました。今後も豆まきの行事にも招待する予定です。			
サブカテゴリー2(8-2)			
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している			
評価項目1			
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」		☒ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果			
他園の公開保育に参加して、先進事例を参考にしています 今年度から始めた近隣保育園4園との交流では、子どもたちの交流ばかりではなく、職員のスキルアップのため、他園の良い面を参考にしています。今年度は保育環境を設定するうえで、他園から学んだおもちゃの置き方やお花の飾り方などを取り入れました。 今年度は、月1回園内研修として「保護者対応」の勉強会を行いました。毎回、状況を設定しロールプレイングをしています。その結果、今回の利用者調査の「職員の対応について」では、利用者から「すばらしいです。嫌な思いをしたことがないです」という意見が出ています。			
サブカテゴリー3(8-3)			
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している			
評価項目1			
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」		☒ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない	
改善の成果			
園のホームページを刷新したり、園だよりをカラー版にしたりしました 園の保育内容について保護者の理解を深めるため、園のホームページを刷新しました。園の概要では、園の運営方針を新たに追加したり、年齢別に保育園の一日の活動を紹介したり、地域子育て支援についてはパートナー保育登録や一時保育利用登録の書類をダウンロードできるようにするなど、新たな工夫を取り入れています。園だよりもカラー版にして保護者にわかりやすくしています。 日々の保育の様子をできるだけ保護者に知ってもらおう努力をしています。今年度は、園行事に限らず特別な活動をしたときは、写真をたくさん撮り活動の様子が詳細にわかるように掲示を始めました。お迎えのときに写真を見ながら子どもが保護者に話をすることが多くなりました。			

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ☒ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

給食の食材の購入にあたっては、複数の業者のしれ値を比べています

給食の食材については、地元の業者から安全なものをしれています。食材の購入にあたっては複数の業者のしれ値を比べ、より安価な業者からしれるようにしていますが、取り組みの成果は年度末まで待たれます。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- ☒ 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- ☐ 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

地域の保育園8園と、園長会を開いて情報交換しています。

区の私立保育園の園長会のほかに、地域の保育園8園と2か月に1度、園長会を開いています。園長会では、各園の保護者がどんな要望を持っているか、他園の園長から話を聞いています。土曜日保育、休日保育、英語の保育のこと、また保護者対応などについて、今後の事業の参考にするために情報交換しています。成果は今後待たれます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
評価(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○ 非該当
サブカテゴリ1の講評			
園のホームページで園の紹介をしています 園についての情報を伝える手立てとしてホームページを作成しています。園の概要や保育園での生活について掲載しているほか、園便り、子育て情報誌や献立表も掲載し、園の様子や子育てに関する情報を伝えています。また、クラス別や行事ごとのブログを掲載し、園での子どもたちの活動の様子を伝えています。地域の方を対象に行っている育児講座のお知らせも載せています。パステル調の明るい配色を使い、とても見やすいものになっています。			
区のホームページや情報誌などを通して近隣の方に園の情報を伝えています これから入園を希望する人に区内にどのような保育園がお知らせするため、区が作成している情報誌があります。その情報誌に園の概要と特長(コーナー保育やバイキング形式で食事を行っていることなど)について掲載しています。また、区のホームページと園のホームページが関連付けられており、区のホームページからも園のホームページが見られるようになっています。園では地域の方が参加できる行事のポスターやチラシを作成し、近隣の図書館、児童館や嘱託医の医院に置いています。園長は地域の園長会で園の情報を伝えています。			
見学者の希望に合わせて対応しています 見学希望については電話で受け付け、つごうのよい日にちを聞いて来てもらうようにしています。見学には主に園長と主任が対応しています。見学者には子どもの活動の様子を見てもらうことが多いのですが、夕方の見学など急な希望にも応じています。見学者には園の活動や概要について説明した後、園内の見学をしてもらっています。食事やトイレトレーニングなどの育児相談にも対応しています。			
	サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			
評価(〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○ 非該当

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○ 非該当

サブカテゴリー2の講評

サービスの開始にあたり情報を収集し、全職員で共有し保育を行っています

サービスの開始にあたり、子どもの健康診断と保護者との個人面談を行っています。子どもの健康状態について把握するとともに、子どもの活動の様子を観察も行っています。あらかじめ保護者に配付していた入園前の生活状況を記載する調査票と家庭の状況や子どもの情報について記載する児童票を提出してもらい、それに基づき個人面談を行っています。担当の職員が個人面談表に基づいて、今後の希望などについて聞いています。これらの情報は、新年度より担当する職員に伝えるとともに職員会議で全職員に周知しています。

サービスの開始にあたり基本的なルールについて説明しています

入園説明会では、入園のしおりに基づき、保育目標、保育時間、日課、行事、災害時の対応、保健や薬の取り扱いなどについて保護者に説明するほか、意見や要望を園の職員や園以外の第三者に相談できることを説明しています。また、アレルギー食を提供する場合には、医師の指示書が必要であることを説明しています。説明を受けたこと、子どもの写真・ビデオ撮影、緊急時の通院などに関しては文書で保護者の同意を得ています。

子どもの不安な気持ちに配慮し、徐々に慣れるよう進めています

入園後は子どもが無理なく園に慣れるように、保育時間を徐々に増やしていく慣れ保育(短縮保育)を実施しています。慣れ保育は10日間をめどに計画を立てますが、子どもの様子を見ながら、保護者と相談して進めています。慣れ保育の開始直後は愛用のタオルなどの持ち込みを認めています。環境の変化による子どもの不安が少なくなるよう、職員間の引き継ぎを十分に行い、保護者との連絡を密にしています。転園や退園にあたっては、子どもに記念品をプレゼントし、その後も園行事の案内を送っています。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○ 非該当

評価項目2

子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	○ 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○ 非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身状況や生活状況をファイルにまとめています

子どもの心身状況や生活状況は、入園時に調査票や児童票、面談の記録から得ています。これらの記録は個別ファイルに綴り、いつでも見ることができるようにしています。その後は、期ごとに発達経過記録を記載しています。個人面談の記録も記載し、それを見ることで子どもの成長の様子がわかるようになっていきます。健康診断や身体測定の記録は健康の記録にまとめています。

指導計画は定期的に見直しをして作成しています

保育課程は園長が中心となり、全職員がかかわり策定しています。年度末に次年度の年間指導計画を立てています。年齢ごとに各期の目標を立て、養護、教育、食育、健康・安全、保護者への支援など多岐の項目にわたり計画しています。月間指導計画、週間指導計画、日ごとの指導計画は月末にクラスごとに立て、担当する職員全員が把握しています。1、2歳児クラスでは、個別の月間指導計画を立てています。

保護者と相談しながら保育計画を進めています

各クラスの年間の指導計画について、年度初めの保護者会などで保護者に伝えています。毎月週案を保護者に配付しています。毎月月間個別目標を保護者といっしょに考えています。そのほかの保護者からの要望や意向については、面談や日ごろの会話から聞き取り、保育計画に生かしています。毎日朝礼を開き、保護者からの連絡事項や子どもの様子を伝え、全職員が情報を共有しながら保育を行っています。計画を急に変更する場合には、園長や主任と相談することになっています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	☐ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	☐ 非該当
サブカテゴリー5の講評		
個人情報の保護と子どもの羞恥心や生活習慣に配慮しています 子どもの写真など個人情報を使用することについては、入園時に保護者から個人情報の取り扱いについての同意書を提出してもらっています。子どもの発達に関する情報を専門機関から得る場合には、保護者を通して得るようにしています。子どもの羞恥心への配慮として、着替えをする場合には外から見えないようにカーテンを閉め、プール使用時にはその周りに目隠しをし、排泄の失敗があったときにはほかの子どもにわからないように着替えをするなどの配慮をしています。生活習慣などについては入園時の面接で聞き取り個別に対応しています。 人権を守ることにについて、行動規範と基本行動マニュアルを職員に周知しています 日常の保育は子ども一人ひとりを尊重して行っています。子どもの人権を尊重することを確認する資料として、園独自で「保育のしおり」と「保育のてびき」を作成しています。「保育のしおり」には児童憲章、児童福祉法、保育所保育指針と園の保育計画を掲載し、「保育のてびき」には保育者としてあるべき姿をはじめ子どもとの触れ合い方などについて具体的に記載しています。職員の入職時に読み合わせを行い、その後は保育の会議の中でそれを基に話し合いをしています。 虐待防止の体制ができています 「虐待防止マニュアル」が作成されています。虐待の定義、発見のための観察や心配がある場合の対応などについて記載されています。マニュアルは職員会議などで読み合わせをして全職員に周知しています。職員が虐待防止の研修に参加した場合は、その内容を職員会議で伝達しています。虐待を受けている疑いのある子どもがいた場合には、園長が家庭支援センターに報告することになっています。		

サブカテゴリ6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
● あり ○ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○ 非該当
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
● あり ○ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている ○ 非該当
● あり ○ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる ○ 非該当
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している 評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
● あり ○ なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている ○ 非該当
● あり ○ なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している ○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている ○ 非該当
● あり ○ なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している ○ 非該当
● あり ○ なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている ○ 非該当

サブカテゴリー6の講評

業務に関するさまざまなマニュアルを用意しています

誰もが同じように業務に携わることができるように、早番、延長保育、土曜保育、清掃など業務に合わせてマニュアルを用意しています。保育中の安全について記載したマニュアルや、防災の手引きも作成しています。これらのマニュアルは、「保育のてびき」及び「保育のしおり」に掲載し、全職員に配付しています。また、虐待防止、不審者対応、実習生・ボランティア受け入れマニュアルも用意しています。今後は、さらに見やすいものに整備され、定期的な見直しと読み合わせをされるとさらに良いでしょう。

保育の質の向上のため、園内研修を行い外部研修にも参加しています

職員の保育の質を高める取り組みとして、園内研修を行っています。職員会議ではリスクマネジメントに焦点を置いて研修を行い、乳児会議と幼児会議では保護者との接し方について学ぶ機会を持ちました。各職種ごとに外部の研修にも参加し、報告書を提出するとともに職員会議の場で報告しています。職員はわからないことは園長や主任にたずねたり、複数担任制で保育を行い、いつでも助言を受けられる体制を整えています。

保育の安全と質を高める体制を整えています

地震、火災を想定して、毎月防災訓練を実施しています。災害に備えて、年1回引き取り訓練を行っています。保護者には事前にメール登録をもらい、災害時にはメールで連絡する体制ができています。また、園舎や散歩に行く公園に危険な箇所はないか点検を実施しています。事故が起きた際は事故報告書を記載して検証を行い、事故に至らないようヒヤリハット対策について検討しています。救急救命講習は消防署より受け、全職員が会得しています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	37/37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている				
			評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
◎ あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			○ 非該当
評価項目1の講評				
子どもの発達の過程や生活環境に配慮しています 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などの情報は、入園の面接や期ごとに記す発達経過記録から得ています。日々の家庭での様子は登園時の保護者との会話、おたより帳、個人面談から得て、朝礼や会議の中で職員が話し合い共有しています。子どものけんかに関しては、1、2歳児クラスではけがをしないよう環境設定の配慮をしています。3～5歳児クラスでは、なぜそれが起きたのか、どうすれば良かったのかについて双方の言い分を聞くようにしています。 子どもが主体的に物にかかわることができるよう環境に配慮しています 子どもが主体的に物にかかわることができる取り組みとして、コーナー遊びを取り入れています。各保育室にはおもちゃは低い棚に片づけられており、子どもが取り出しやすいようになっています。自由遊びのときには、おもちゃのコーナー、ブロック遊びのコーナー、お絵かきやパズルなどさまざまなコーナーが生み出され、子どもたちがそれぞれのコーナーで楽しく遊ぶ姿が見られます。1歳児クラスでは、月齢に応じてのびのび遊ぶことができるよう、高月齢児と低月齢児でクラスをわけることもしています。 互いを尊重するかかわりを大切にしています 異年齢活動の取り組みとして、4、5歳児は合同保育を行っており、土曜日は異年齢で保育を行っています。また、週2回、2～5歳児が合同でコーナー保育を行っています。異年齢で活動することにより、お互いを労わり尊重する心がはぐくまれています。特別な配慮が必要な子どもの保育にあたっては、個別に支援計画を立てて保育日誌を記載し、子どもが安心して新しい環境に入れるようにするなど配慮しながら保育を進めています。区の巡回指導や専門機関とも連携を取っています。				
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている				
			評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目			
◎ あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている			○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			○ 非該当
◎ あり ○ なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			○ 非該当

評価項目2の講評																	
おたより帳や会話を通して子どもの様子を保護者と伝達し合っています 子どもの家庭での様子は登園時に保護者から直接聞いたり、体温や健康の様子はおたより帳を通して確認しています。登園時に保護者から聞いた子どもの情報は朝礼時にホワイトボードに記したり、職員用の引き継ぎノートに記載し、全職員が目を通すことになっています。お迎え時には保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。おたより帳では月の個別目標を保護者に伝えるだけでなく、保護者からの意向を確認しています。また、園だよりやお知らせ、週案もおたより帳に綴じてお知らせしています。 基本的な生活習慣が身につくよう配慮しています 3～5歳児クラスではバイキング形式で食事をしています。自分で食べることでできる量をよそうことで苦手な食材も食べることができているようです。また、職員は子どもといっしょに食事をとり、食事のマナーなどについて伝えることができています。午睡については起床時間や子どもの体調に合わせて時間を調整しています。5歳児クラスでは、11月から子どもの体調や様子を見ながら、就学に向けて徐々に時間を減らし、最終的に午睡をなくすようにしています。																	
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当	● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当	● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当	● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
評価	標準項目																
● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当															
● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当															
● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当															
● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当															
評価項目3の講評																	
保育目標の実現を踏まえて保育計画を作成しています 全クラスについて、年間指導計画、月間指導計画、週間、日ごとの指導計画を立てて保育を行っています。指導計画の作成にあたっては、園の保育目標である「よろこんで登園し、心ゆくまで遊べる子ども」「安定した雰囲気の中で健康で意欲的な活動することにより、自分と他人を大切にし互いに協力し合える子ども」を踏まえて策定しています。季節や行事に合わせて製作を行ったり、集団活動に主体的にかかわる遊びとしてドッジボールなどルールある遊びを行っています。 自分で遊びを選び、自主性をはぐくんでいます 子どもたちは遊ぶときには、さまざまな遊びのコーナーを作って遊んでいます。2～5歳児クラスでは週2回合同でコーナー遊びを実施しています。「社会(ごっこ遊び、パズルやブロックなど)」「造形(さまざまな製作)」「体育」「モンテッソーリ」「英会話」「コンピューター」の6つのコーナーを設定し、子どもたちは興味のあるコーナーを自分で選び、自主性や自発性をはぐくんでいます。 季節が感じられる取り組みを行っています 天気の良い日にはできるだけ散歩に出るようにしています。近隣には趣の違う公園があり、「遊具で遊ぶ」「どんぐりを拾う」「思い切り遊ぼう」など事前に目的を定め、目的に合う公園に散歩に出かけています。自然豊かな公園も多く、落ち葉を拾って装飾を作ったり、葉っぱを取って色水を作って楽しんでいます。春には全園児遠足、夏には夕涼み会や年長林間保育、秋には4、5歳児のいも掘り遠足、冬にはもちつきを実施し、季節が感じられる取り組みとなっています。																	

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○ 非該当
評価項目4の講評			
季節を感じながら楽しく過ごせるよう行事を実施しています 七夕、七五三、ハロウィン、クリスマス、節分など季節や暦に合わせて、さまざまな行事を行っています。夕涼み会では、1、2歳児、3歳児、4、5歳児のクラスごとに山車やおみこしを作って園庭を練り歩き、縁日ごっこではヨーヨーや金魚すくい、ビンゴ大会や盆踊りを楽しみました。みんなで協力し、やり遂げることのできる行事として、ファミリースポーツデイ(運動会)があります。2～5歳児クラスでは、運動会を目標に跳び箱や鉄棒に取り組み、成果を発表しました。 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事を行っています 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事として、5歳児クラスが系列園といっしょに行っている林間保育があります。キャンプファイアー、ポニーとの触れ合い、野菜収穫や神社参拝などたくさんの体験をしています。毎年年度初めに園のテーマを決めており、今年度のテーマ「色」に基づいて、作品展では色を題材に共同作品を作りました。お遊戯会では、子どもたちの好きな絵本から題材を得て、劇やダンスを発表しました。毎月、お誕生会を行い、子どもの成長を祝っています。 保護者が楽しく参加できるよう配慮しています 年度初めの保護者会で年間行事予定表を保護者に配付し、行事について説明しています。毎月発行している園だよりにも行事予定を掲載しています。保護者が参加できる行事のときには、そのつどお知らせを配付しています。行事の後は、アンケートを行って保護者の意見や感想を把握し、次年度の行事に生かしています。子どもが職員以外の人と交流できる機会として、年1回高齢者施設との交流会を行っています。また、系列園といっしょに林間保育、いも掘りや遠足を行ったり、地域の4園と年間計画のもと交流会を実施しています。			
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる		○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている		○ 非該当

評価項目5の講評																				
長時間過ごす子どもがゆったりと過ごせるよう配慮しています 保育時間の長い子どもが過ごす時間帯には、昼間にはあまり出さないおもちゃを出して、子どもがのんびりゆったりと遊ぶことができるよう配慮しています。午後5時30分ごろから1、2歳児クラスと3～5歳児クラスにわかれて過ごし、午後6時15分ごろから全クラス合同で過ごします。自然に異年齢のかかわりができています。子どもたちはこの時間には、ごろごろしたりと自由に過ごしています。 職員間で子どもの様子を伝達し、保護者に伝えています 登園時には保護者から子どもの家庭での様子を聞き、クラスごとに職員用の引き継ぎノートに記載しています。その情報をもとに朝礼を行い、申し送りの内容をホワイトボードに記載し、全職員に伝えています。お迎えのときには、引き継ぎノートに基づき子どもの様子を保護者に伝え、3～5歳児クラスでは保育の様子をクラスごとにホワイトボードに記しています。保護者には保育士より一言声をかけるよう努めています。																				
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点(〇〇〇〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>● あり ○ なし</td> <td>5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当	● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当	● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当	● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当	● あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当
評価	標準項目																			
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当																		
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当																		
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当																		
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当																		
● あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当																		
評価項目6の講評																				
楽しく食事ができるようさまざまな工夫をしています 系列園の栄養士と交互に2週間サイクルの献立を立て給食を提供しています。薄味になるよう配慮し、春には菜の花、夏にはなすなどしゅんの野菜を取り入れています。残食調査を行い、残食の多い献立のときには、次回に食材の切り方や大きさを工夫しています。楽しく食事ができるよう、ハロウィンにはチキンライスをかぼちゃの形にしたり、七五三には栗ご飯を出すなど行事食を工夫したり、今年度の園のテーマ「色」にちなんで、月1回テーマ食を提供しています。「白」がテーマのときのメニューはシチューでした。 食育を行い、野菜を栽培したり調理保育を行っています 楽しく食事ができるよう、3～5歳児クラスでは、パイキング形式で食事をしています。自分でよそうことで苦手なものも食べることができているようです。2歳児以上のクラスではランチオンマットを使用しています。子どもたちが食に関心が持てるよう、年間計画を立てて食育を行っています。野菜の栽培に取り組み、夏にはなすなどを育てました。収穫した野菜は調理してもらい食べています。子どもたちは調理保育として、お団子、焼き芋を作りました。4、5歳児はけんちんうどんやおにぎり作りも体験しました。 食物アレルギーのある子どもには除去食を提供しています 食物アレルギーのある子どもには、医師の指示書に基づき代替食を提供しています。毎月保護者といっしょに献立表をチェックし、提供する前に確認をしています。誤食を防ぐため、配膳時には色の違う食器やトレーを使用しカバーをして提供しています。毎日サンプルを掲示し、父親参観日には試食会を行っています。毎月献立表を発行して季節の野菜を使った献立や新しく取り入れた献立を掲載し、保護者も食に関心が持てるよう配慮しています。																				

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇)
	評価	標準項目		
	☒ あり ☐ なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている		☐ 非該当
評価項目7の講評				
感染症やけがの防止に努めています 感染症を予防するため、日ごろから手洗い、うがいを励行しています。月2回系列園より看護師が来園し、クラスごとに手洗い、うがいや歯磨きについて保健指導をしています。けがを防止するため、職員が遊具の使い方について共有し、遊ぶときには子どもにも使い方のルールを教えています。交通安全教室を開き、交通のルールを教えています。薬の預かりについては、医師の処方箋を提出してもらったうえで預かっています。				
子どもの健康を把握し、病気やけがに対応できるよう体制を整えています 年2回健康診断と歯科健診を行い、毎月身体測定を実施しています。身体測定や健診の結果は、健康の記録に記載し、在園期間を通して把握することができるようし、保護者にはおたより帳を通して伝えています。近隣の病院の連絡先をまとめ、急な発熱やけがにすぐに対応できるようにしています。感染症の登園停止基準などについては入園時に説明し、感染症や生活習慣などの情報は、ほけんだよりで伝えています。乳幼児突然死症候群(SIDS)を予防するため、全クラスで15分ごとに呼吸チェックを行っています。				
8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	☒ あり ☐ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている		☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		☐ 非該当

評価項目8の講評		
保護者同士が交流できる機会があります 保護者の子育てや就労時間への配慮として、延長保育は緊急の場合も申し込みを受け付けています。また、保護者同士が交流できる機会として、クラス懇談会があります。年3回行っており、子どもの家庭での様子を話し合う機会としています。運動会、親子遠足、夕涼み会など保護者参加行事を実施し、保護者同士及び職員と交流できる機会を作っています。個人面談は期間を設けて実施しています。 個人面談などを通して保護者の意見を聞いています 保育士と保護者の信頼関係を深める取り組みとして、隔月に2、3日保育参観・参加を実施しています。毎年11月に育児相談強化期間を設け、外部講師を招いて育児講座を実施しています。今年度は「交通安全について」と題して土曜日に実施しました。クラス懇談会は、子どもの成長について保護者に伝えたり、園での子どもの様子を伝えるだけでなく、保護者の要望を聞く機会ともなっています。行事のときには保護者を対象にアンケートを実施し、意見や要望について把握しています。		
9	評価項目9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している	
		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	☐ 非該当
評価項目9の講評		
地域の子育て支援として一時保育や育児講座などを実施しています 地域の在宅子育て家庭への支援として、一時保育、緊急一時保育事業、年末保育、育児講座を行っています。利用にあたり、パートナー保育登録をしてもらっています。年間45組以上の登録があります。育児講座は年5回実施しており、リトミック、お団子作り、指や手に絵の具をつけて絵を描くなど家ではできない遊びを実施しています。夕涼み会、もちつき、作品展、七夕など園の行事に参加することができます。育児講座の中で、お茶を飲みながら保護者同士が交流する機会を設けています。 子育て情報誌の発行や育児相談を行っています パートナー保育登録者には、希望に応じて園だよりや子育て情報誌を配付しています。子育て情報誌は2か月に1回発行しており、子育てのアドバイスなどを掲載しています。子育て情報誌は近隣の図書館、児童館、庁舎、保健所や嘱託医の医院にも置いています。育児講座の計画や子育て情報誌の作成は、子育て支援係の保育士が中心となって実施しており、終了後には反省会を開き、次のプログラムに生かしています。育児相談も受け付けています。		

調査対象

保育園を利用している39世帯を対象に調査を実施しました。児童数は45名です。兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱いました。利用者総数に対する回答者割合は79.5%でした。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数

39

共通評価項目による調査の有効回答者数

39

利用者総数に対する回答者割合(%)

31

79.5

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が27人(87.1%)、「満足」が4人(12.9%)で「満足」以上の回答は合計31人(100%)でした。

自由意見には「子どもたちに季節や年齢に応じた様々な機会を与え、豊かな心を育むために力を尽くしてくださっています」「毎日、子どもの園での様子を教えてください、安心して預けることができます」「行事もたくさん企画していただき、毎回子どもの達の成長を感じることができ、とても素晴らしいです」など、園に信頼と感謝を寄せる声が見られます。

質問別に見ると、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「保護者の考えを聞く姿勢があるか」「病气やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」のほか3つの項目で100%、さらに「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか」をはじめとする6項目で90%以上の保護者が「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「バイキング形式で、子どもの食べる意欲を考えていると思います」などの声がありました。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	30	1	0	0
「はい」が96.8%、「どちらともいえない」が3.2%でした。 コメントはありませんでした。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	29	2	0	0
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%でした。 自由意見には、「お願いしたことがまだありません」という声がありました。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	30	1	0	0
「はい」が96.8%、「どちらともいえない」が3.2%でした。 自由意見には、「緊急時にはさらに細かく状況を知らせてほしい」などの声がありました。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	4	0	0
「はい」が87.1%、「どちらともいえない」が12.9%でした。 自由意見には、「保護者と子どものために本当に楽しい行事を行っています」などの声がありました。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	30	1	0	0
「はい」が96.8%、「どちらともいえない」が3.2%でした。 自由意見には、「先生方を見て、先生のように子どもに接することが出来たら良いなと勉強になります」などの声がありました。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 コメントはありませんでした。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	30	1	0	0
「はい」が96.8%、「どちらともいえない」が3.2%でした。 自由意見には、「とてもきれいにしてくださっています」などの声がありました。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「すばらしいです。嫌な思いをしたことがないです」などの声がありました。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「体調の悪い時は迎えに行くまで、本人やほかの子どもたちにも配慮して、別室でゆっくり寝かせてくださいました」という声がありました。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	27	4	0	0
「はい」が87.1%、「どちらともいえない」が12.9%でした。 自由意見には、「いつも公平に話をしてくれています」などの声がありました。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	30	1	0	0
「はい」が96.8%、「どちらともいえない」が3.2%でした。 自由意見には、「心から大切にされていると思います」などの声がありました。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 コメントはありませんでした。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	31	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 コメントはありませんでした。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	5	0	0
「はい」が83.9%、「どちらともいえない」が16.1%でした。 自由意見には、「対応があっさりしていると感じることもありました」という意見がありました。				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	25	5	0	1
「はい」が80.6%、「どちらともいえない」が16.1%、「無回答・非該当」が3.2%でした。 コメントはありませんでした。				